

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年2月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500166
法人名	医療法人 杏林会
事業所名	グループホーム あんずの家
所在地	鹿児島県いちき串木野市桜町39番地1 (電話) 0996-32-8111
自己評価作成日	令和5年1月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あんずの家は、いちき串木野市の市街地に位置し、日常の変化を身近に感じることのできる地域密着型のグループホームです。

新型コロナウイルスの影響で家族と一緒に外泊や外出が出来ない状況ですが、近くの公園に天気の良い日は散歩したり、中庭にテラスもある事から、好天の日には季節を感じながら日光浴を実施しています。新型コロナウイルスが終息すれば、御家族と直接触れ合うことも出来るだろうと信じております。また、外出の頻度が少なくなり、下肢筋力等が低下しないように、体操を毎日実施しています。ホーム入口にはシンボルである杏の木が植えてあり、春先に可憐な花を咲かせます。花は実になり皆で収穫、ジャムやシロップ等を作って皆で頂いています。

職員と入居者様との信頼関係を構築し、気軽に心配事や相談等ができるような雰囲気作りに努めています。

母体が医療法人であり、週一回の訪問看護と月二回の訪問診療を行っています。また、入居者の身体状況に応じて専用の情報提供書を利用して医師・看護師との連携を図り、入居者の健康維持に努めています。

本年度も様々なホーム行事や日常の外出、面会等も自粛しているのが現状です

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、近くに公園があり、日常の散歩コースとなっている。各ユニットの間に中庭があり、天気の良い日は、季節を感じながら日光浴を楽しんでいる。
- ・コロナ禍で、外出が制限される中で、利用者の下肢筋力の低下を防止する為に健康体操をレクリエーションの時間や日常のケアの中に取り入れて、利用者の日常の生活の活性化を図っている。
- ・職員間の関係が良好で、多くのパート職員の勤務体制についても、希望に添えるような配慮をして働きやすい環境づくりに努めている。
- ・管理者は職員からも信頼があり、できる限り職員や利用者の思いに気付けるような努力をしている。
- ・施設内は開設以来の方針である掃除の行き届いた清潔感のある施設という伝統を守っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「あなたがあなたらしく生きていただくために、今までのあなたを大切に・・・」の基本理念を共有し日々のケアに活かすように努めています。	理念は事業所やリビングに掲示して、パンフレットに掲載している。重要事項説明書にも記載している。毎月のスタッフ会議の中で理念に添っているかの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	いちき串木野市桜町公民館の自治会へ加入しており、回覧や広報誌等の配布。集落の行事やリサイクル活動にも参加しています。しかし、本年度は集落の行事も自粛等があり、参加できていません。	自治会に加入し、回覧板や広報紙が回ってきている。行事は自粛している。年1回の総会には参加している。リサイクル活動に参加したり事業所周辺を散歩して近所の人達と挨拶を交わしている。地域の方からの依頼がある時は事業所の駐車場を貸している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	行政開催の認知症サポーター要請講座への参加や高齢者元気アップ・ポイント事業の受け入れボランティア活動に加入しており、地域の方々との交流を大切にしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回奇数月の第2水曜日に地域の方や行政等の参加してもらい、利用状況等を報告し、意見や指導を頂きながら、サービスの向上に努めています。感染予防のためホーム外での実施になっています。	会議は法人本部の会議室で、2ヶ月に1回開催している。利用者の現状・事業所の状況・ヒヤリハット・事故報告・コロナの状況等について報告をして意見交換をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要に応じて相談や報告を行っており、その都度適切なアドバイス等を頂きながら、協力関係を築いています。また、運営推進会へも行政担当として包括支援センターより出席頂いています。	介護保険関係を中心に書類申請や運営推進会議の事前の打ち合わせや相談を市の窓口へ直接出向いてすることもあり、連携を取っている。市主催の研修には参加して情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行っていません。また、スタッフ会議にて議題にあげ研修を行っています。身体拘束の無いケアに取り組んでいます。	マニュアルを基に身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎に開催している。言葉遣いについてはスタッフ会議の中で確認している。日中の施錠はしていない。外出希望者には近隣を一緒に散歩している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待は勿論のこと言葉による心理的・精神的虐待も見過ごさないよう職員間でも十分に気をつけており、現在まで虐待は認められない。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年度末に権利擁護・成年後見制度を学ぶための研修を行っています。本年度中に研修会を行う予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約経穴が長時間にならないように契約前に、契約書や重要事項説明書等を熟読して頂き、契約時に不明な点等を説明して了承を得た上で署名・捺印を貰っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年度途中にて、加算等が発生した場合など、家族への同意を行い、来訪時や電話での状態報告を行うと共に、ご家族の意見や要望なども伺い、スタッフ会議等で検討しています。各ユニットの玄関にご意見箱を設置している。</p>	<p>利用者から日常生活の中でゆっくりくつろいでいる時間等に寄り添い「テレビを買いたい」「新聞を購読したい」等の意見を傾聴し検討している。家族からは窓越しの面会時や電話・便りを郵送した後で意見を聞いている。意見箱を設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者は、法人行事や当ホームの季節行事に参加し職員と交流する機会を設けているが、本年度は行事の縮小で参加できていない。管理者はスタッフ会議にて意見聴取し業務改善に努めている。</p>	<p>日常的にコミュニケーションがとりやすい環境作りに努めている。毎月のスタッフ会議やミーティングでは多くの意見が出て、業務改善などを行い運営に反映している。屋内で出来るレクリエーションや体操について職員より要望があり、活用が可能となった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は、職場環境の改善や有給休暇や希望の休み等を考慮し勤務表を作成し、偏った業務配置にならないようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設外での研修棟に関しては自粛し、WEBでの研修の機会を提案しています。介護福祉士や介護支援専門員の資格取得にも協力しながら職員のスキルアップには力を入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の勉強会や研修への参加を心がけています。</p> <p>いつでも相談ができるようネットワークは出来ています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前にご本人やご家族と面談を行い、生活歴や要望、それぞれ思いなどを確認し安心した生活が送れるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の抱える不安にしっかりと耳を傾け、信頼していただけるような関係づくりを心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>面談を通じてご本人、ご家族の思いを確認し、その思いに反映したプランを作成しており、満足していただけるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その人らしい暮らしが続けられるように、一人ひとりお互い支えあいながら、信頼関係を築けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族に協力して頂きながら、家族の顔や思い出が薄れないようにガラス越し面会や電話等での会話ができるよう配慮しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会については、ガラス越しではあるが電話を利用して実施しています。家族以外の面会も制限していません。（外出は自粛して頂いています。）	窓越し面会は家族だけでなく親戚や知人もきている。年賀状や電話での取次もおこなっている。訪問美容はボランティアで2ヶ月に1回来ている。自宅周辺まで、ドライブに行き、車の中から墓参りをすることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	男性の入居者様が多く、あまり同性との話しは少なく、異性との話しはされています。認知機能の差や相性もある為、入所者同志の関係性が崩れないように職員は努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、相談に応じ可能な限りフォローできる体制を保っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段着や入浴後に着ていただく衣類等、ご本人様に選らんで頂き、準備が不十分な所は一緒に確認しながら支援しています。	日頃から話しやすい明るい雰囲気の中でテレビ鑑賞中やリビングでゆっくりしている時に利用者の思いを聴いている。気軽に話し合い、本人らしく生きる意向を大切にしている。意思表示の困難な場合は表情・行動・言動の変化から把握したり、家族から情報を聞き、スタッフ会議の記録等を参考にして支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の暮らしについては、ご本人からはもちろん、ご家族や居宅担当ケアマネ、身近な介護者から情報をいただいています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自分の考えや意思表示の困難な入居者様もおられますが、職員が表情や行動等を察して支援するように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の気付きは、生活記録に記入し、申し送り等で職員間で共有し、その場で解決できない課題については、毎月のスタッフ会議にて情報を共有し、ご本人やご家族の意向などを反映した介護計画の作成に努めています。	本人や家族の意向を確認し、主治医や看護師の意見を参考にしてスタッフ会議での情報により介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に取りまとめ、6ヶ月毎に見直しをしている。状況の変化があった時はその都度見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に日々の様子を記録し、月に一回ケアカンファレンスを行い3ヶ月毎にモニタリングを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎月行っているスタッフ会議でモニタリングを行い、その時のその方の状態に合った支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	豊かな暮らしを楽しむため地域の公園等を利用している。また、季節ごとに開催される地域行事等への参加に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制をとっており定期の診察は訪問診療の際行っていますが、入居前のかかりつけ医との関係を継続している入所者も数人おられます。必要に応じて他科受診も行っています。	入所前のかかりつけ医を継続している。月2回の訪問診療と週1回の訪問看護師による健康管理を実施している。他科受診は家族の同行で実施しているが、困難な場合は職員が同行している。歯科の訪問診療もある。24時間医療連携体制がとれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を強化するために週一回、同法人の協力医療機関より訪問看護が行われている。</p> <p>入居者の状態報告を行い適切なアドバイスをもらっています。また、訪問診療や病院受診時に主治医へ連携を図ってもらっています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合、入院医療機関の担当医やMSWとの連携を図り、早期の退院に向け受け入れの態勢を整えています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に重度化に伴う対応について、文書にて説明を行い納得を得ている。また、入居中の状態報告を行うとともに今後、重度化した場合でも安心して過ごせるように他事業所とも連携を取っています。</p>	<p>重度化や終末期に向けてのマニュアルと指針がある。入所時に施設で出来ること出来ない事等を説明している。重度化に伴い主治医からの説明もあり安心して生活できるように関連施設とも連携をとりながら対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアル作成し、冷静に対処できるように周知しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を行い、災害時は、関連施設との連携を行いながら、自治会への直接放送等で、有事の際の協力等をお願いする。</p>	<p>マニュアルを基に年2回避難訓練・誘導訓練を実施している。1回は消防署の立ち合いがある。避難場所は近くにある公園になっている。消防署からも来て訓練の様子をみてもらい最期に良かった点今後検討しなければいけないことなど評価して貰っている。緊急連絡で公民館長に連絡がとれるようになっている。備蓄として米・水・ラーメン・缶詰・レトルト食品等が3・4日分ある。カセットコンロの用意もしている。避難用のリュックサックを家族に準備して頂き部屋に置いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーや人格を損ねない言葉使いや対応に心掛け入居者様のプライドを傷つけないように支援しています。	人権・個人情報・プライバシー等の勉強会をスタッフ会議の中で実施している。利用者への呼称はさん付けで呼んでいる。入室時のノックや声掛け・プライバシーに配慮し、入浴時の更衣やトイレへの声掛け等、羞恥心に配慮している。入浴も個別に行っている。トイレもドアを閉めている。言葉かけも優しく丁寧を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押し付けや無理強いをせず、ご本人が感情や希望の表出ができるようにその方の状態を見極めながら働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活リズムに合わせて自己決定できるような雰囲気づくりをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容室やビューティヘルパーを利用し、好みのヘアスタイルをしてもらっている。服も出来るだけ一緒に選んでもらうように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	黙食をお願いしている関係で落ち着いたBGMを流し、個々の食事状況に合わせた形態で提供。嗜好をくみ取りながら食事の提供。食事の準備や、テーブル拭き・片付け等をしてもらっています。	献立は職員が作成し食事形態や好みにも配慮している。食材は近くのスーパーマーケットで購入している。行事食や誕生会はその人の好みを聞いたり、さしみや手作りケーキの提供もある。テーブル拭き、片付け等を職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれに合った食事形態で提供し、偏食等にも代替品にて対応している。また、疾患に応じた食事の提供に努めている。水分補給に対しても個々に対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、磨き残しや義歯装着の確認を含め口腔内の状態の確認をしている。また、義歯使用者は就寝前には義歯洗浄剤も利用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	状態に合わせた下着や排泄用具を使用し、なるべくトイレで排泄ができるように、それぞれの排泄パターンを把握してトイレへの誘導を行っている。	羞恥心や不安への配慮を行い安心して自立に向けたトイレでの排泄に取り組んでいる。生活記録表で排泄パターンを把握してタイミングをみて周りに気づかれないようにトイレ誘導をしている。スタッフ会議で個々の排泄について検討し、尿量に応じてパットを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給を十分に行い、排泄時等腹部マッサージを行い、運動等も積極的に行えるように心がけている。また、緩下剤の使用については、担当医と連携して調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回で午前中に入浴時間を設け、入浴剤を入れゆっくりと入浴できるように配慮しています。身体の汚染時はいつでも清潔が保てるよう支援しています。	入浴は週2回午前中を基本としている。希望に沿って支援している。入浴を楽しめるように入浴剤・ゆず湯も使用している。入浴を嫌がる場合は、時間や職員を変えて対応し無理強いはしないようにしている。希望者には同性介助を実施している。状況に応じてシャワー浴、足浴等も実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や体調に合わせて安心して休息が取れるようにソファなどを設置している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬剤の説明書を個々にファイルし内容把握に努めている。また、処方変更等についてはその都度、申し送りにて周知し状態の観察を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物干しや皿拭き、調理の手伝い等して下さっている。天気の良い日は、ドライブや買い物、外食等行い気分転換を行っている。</p> <p>現在は自粛中である。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>全ての要望には対応できないが、出来る限り、散歩、ドライブ、日光浴など実施し、関連病院以外の受診等のご家族の協力も貰いながら支援しています。</p>	<p>年間計画を作成しているがコロナ禍で自粛している。事業所の周辺を散歩したりテラスを利用して外気浴を楽しんでいる。数名や個別で受診の帰りなどにドライブで、自宅周辺や公園・花見など季節を感じて貰ったりして気分転換を図っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いとして事業所の金庫に預けている方が殆どです。買い物や外出時は、財布を持ってもらい自分で支払をする機会を持つように心がけています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話はいつでも掛けられる環境を作っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは、天井も高く明るく壁には、季節に合った装飾品を飾り季節感を出し、夏場は、西日が当たるため、すだれやよしず等で工夫しています。	リビングは天井が高く採光も良く明るく広い空間になっている。加湿器付きの空気清浄機や温度計の設置があり、感染対策がされている。エアコンにより温度調節をおこなっている。季節感が出るような飾り付けも行われている。カレンダーを掲示して、大型テレビやソファを置き、過ごしやすい工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの自席や、ソファで他の入居者様一緒にテレビ・ユーチューブを見たりして、一人で過ごされたり、利用者様同士楽しく会話されるなど自由に過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス、家族写真、テレビ等ご自宅でも使われていたものや馴染みのものを持ち込んでおられ、個性的な部屋になっている。	ベッド・押し入れ・エアコンが設置されている。自宅で使い慣れたタンスやテレビ・家族写真・塗り絵・ぬいぐるみ・湯飲み・皿・茶碗など、小物を持ち込み、落ち着いた安心できる部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見渡しがよく広い造りになっており、床や居室の出入り口にも段差がなくバリアフリーになっている。また、個々の動線を把握し障害物を取り除いている。日中は施錠せず開放的で、庭への出入りも自由です。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない